



川東小だより

第4号

平成30年7月13日

新発田市立

川東小学校

☆☆合い言葉は、「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ です。☆☆

夏休みも「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ！
～自然体験で脳を育て、可能性を広げよう～

校長 田中 範克

「夏」といえば夏休み。子どもたちがわくわくしながら待っている、学校生活の中で一番長いお休みです。

調べてみますと、夏休みは、温帯に属する国々を中心に広く実施されているようです。その目的は各国によって異なりますが、夏季の暑熱の回避が主な理由となることが多いそうです。日本では、正式には「夏季休業」といいます。

そして、この休みの期間に期待される教育効果の主なものとしては、普段学校では体験することの出来ないことへの「挑戦」であるということでした。

夏休みは、様々な体験の「チャンス」があり、自由に「チャレンジ」でき、大きく成長して「チェンジ」することのできる、まさに『「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ』の休みといえます。



6月30日(土)に、川東自治連合会二王子登山が実施されました。ふるさとのシンボルでもある二王子岳。頂上付近では、ヒメサユリとニッコウキスゲが美しい花を咲かせて歓迎してくれました。頂上では、絶景の飯豊の山々に降り注ぐ光を浴び、達成感と充実感にあふれた子どもたちの笑顔が輝いていました。

登山や自然の中での活動や遊びは、リフレッシュしたすがすがしい感覚を与えてくれます。そして、自然には人間の心身を回復させる力があるといわれています。

世界の科学者たちは、今、自然が人間の気持ちや心身の健康だけでなく、思考力にも及ぼす影響を調べているそうです。記憶し、計画を立て、創造性を発揮し、集中する力、そして社交能力までもが、自然によって左右されるそうです。

自然の中で15分過ごせば、血圧とストレスが低下して気分がよくなる一方、45分過ごせば、認知機能や活力、熟考する力が増す。そして、3日間過ごせば創造性が50%向上するという実験結果もあるそうです。そして、めったにできない雄大な自然体験で心に残る体験を通じて、わたしたちの脳の核にある部分に変化し、希望や夢といったものがはっきりと見えてくることもあると言います。さらに、自然に畏敬の念をもつことで、人との絆が強まり、自分を見つめることもできるそうです。

このことから、成長過程の子どもにとっての自然の中での遊びや活動は、脳の機能を活性化し、まさに脳を育てることにつながると言えます。そして、自然の中での活動は、脳の発達を促すとともに、畏敬の念をもたせ、絆を深め、自分を見つめる心育て、夢や希望を明確に自覚させる、今と未来を生きる力をはぐくむ最高の教育活動でもあります。

学校では体験できない、様々なことにチャレンジできる夏休み。自然体験や自然の中での遊びを通して脳を育て、様々な能力を養い、未来に向けての可能性を広げるチャンスです。なにより、豊かな自然あふれる川東は、まさに自然体験や遊びの宝庫です。

子どもたちが、この夏休み中、事故やけが、熱中症に気を付け、ふるさとの自然の中での遊びや、旅行先等での自然体験などで大きく成長してほしいと思います。

いずれにしても、この1学期、子どもたちは、保護者の皆様や地域の皆様に支えられ、様々な自然体験や教育活動を通して成長することができたと思います。本当にありがとうございました。

さあ、いよいよ夏休み！「夢や目標」に向かって、様々な「チャンス」を生かし、自然の中での遊びや自然体験に「チャレンジ」して脳が育ち、可能性を伸ばして大きく「チェンジ」できる夏休みになることを願っています。